

県会議員 奥村のり子の  
読者ニュース

2017年8月13日 第277号  
——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11  
☎ & FAX 073-427-7121  
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



原水爆禁止世界大会・広島へ参加  
禁止条約にサインする政府をつくらう

日本に原爆が投下されてから72年、今年も8月3日から9日まで原水爆禁止日本協議会主催で、原水爆禁止2017年世界大会が広島・長崎で開催されました。今年の大会は歴史の大きな転換点のなかで開かれました。ニューヨークの国連本部では、3月に「核兵器全面廃絶につながる、核兵器を禁止する法的拘束力のある協定の第一会期が開かれ、そして、6月から7月にかけて、ついに第2会期で条文案が審議され採択されるという画期的な出来事が実現しました。急遽、日本共産党和歌山県委員会からも14人の代表団を結成し、私もその一人として参加させていただきました。募金や千羽鶴などのご協力ありがとうございました。高校生の時には修学旅行がなく、そのかわり現地教育という名で広島を訪れ、初めて原爆資料館で視た被爆の実相は、心の奥底に沈んで行ったような記憶があります。これまで2度長崎大会に参加させていただきました。日帰りの強行な日程でしたが世界から全国から集ったみなさんと交流ができ、生き方の物差しにさらに強いエネルギーをいただきました。全国の新婦人みなさんと一緒に舞台にある機会もいただきました。舞台の袖で待っている間、あいつの紹介で



原爆ドーム前で県党の代表団です

内閣改造で見えてくるのは？  
疑惑隠しと9条改憲に執念

アベ首相は8月3日内閣改造を行いました。それは国民に追い込まれ疑惑隠し内閣です。改造後会見した首相は、森友や加計問題、防衛省の日報問題など「さまざまな問題が指摘され、国民から大きな不信を招いた。深く反省しお詫び申上げたい」と、珍しく8秒間頭を下げました。だが自分がその下真ん中に居た加計問題は「内閣府と文部省の調整過程をめぐり、当事者間で言った言わないの水かけ論に陥り疑惑を招いた」とウソで固めました。他人の責任にしてごまかすのが得意なのです。改造の狙いはごく一部ですが紹介します。

①「疑惑隠し」では日報問題の稲田防衛相を改造5日前辞任で「カッコー」つけ、加計疑惑の松野文科相、山本地方創生相らを下し、防衛相には元防衛相小野寺氏の復帰で稲田氏の国会招致を拒否し続けます。文科省が8月にも結論を出す加計学園の獣医学部新設認可へ、閣僚経験が豊富な林元農水相を当て、こちらも疑惑の幕引きを図ります。

②「憲法9条改定」に向けた体制強化へ首相最側近とされる萩生田前官房副長官を自民党幹事長代行に配置換え、党4役をはじめ幹部全体で改憲案をとりまとめ萩生田氏がならみをかせるようです。この2点だけでなく他にもありますが、反省なき布陣で暴走加速です。内閣改造で支持率は微増ですが、「アベさんはいや」は「7割台」です。(編集室)

のり子の週刊日誌(主なもの)

8月11日	会議
12日	地域訪問
13日	休み
14日	休み
15日	終戦記念日街頭宣伝
16日	休み
17日	市駅前無料生活相談、団会議 PTA懇談・陳情、庁内訪問

産廃学習会に二四五人

7月30日、和歌山市直川の北コミュニティセンターで開催された「産廃問題学習会・夢前(ゆめさき)町の闘いに学ぶ」には、目標を大きく上回る145名の方が参加しました。主催者を代表して小野原聡史氏が挨拶し、産廃建設の地元山口住民の栗本敬一郎氏が運動の経過と計画撤回を訴えました。

講師の入江次郎兵庫県議は、冒頭に「夢前の産廃処分場反対の闘いは和歌山の山口の闘いに学ぶことから始まった」と切り出しました。「夢前では、500万㎡、甲子園球場の約10倍にもなる国内最大規模の計画に地元住民が誰も知らない状態だった。産廃業者がすでに自治会長にお金もばらまき、賛成を取り付けていた。しかし、山口の闘いを新聞で知り、業者の説明が本当なのか調査した。すると業者が過去に建設した産廃処分場が違反だら

夢前の闘いのきっかけは山口産廃から学んだ



入江県議の報告を聞く参加者  
目標を大きくもって取り組み、会場は超満員。うれしいですね

け、欠格要件だらけとわかり、議会でも何度も取り上げてきた。住民の運動と連携し追い込んできた。改善するには数十億円のコストがかかる。現在、林地開発の許可申請は書類不整備のままストップしている」との報告でした。

学習会は、和歌山市の豊かな自然を守り、環境を考える会だけでなく和歌山市大運動実行委員会、和歌山県革新懇の共催で、宣伝カーやピラ配布、つながりでの参加を呼びかけて来しました。

和歌山市は、7月12日、事業者に対し、「紛争予防条例第11条の規定による指導又は助言について(通知)」を提出しており予断を許さない段階に入っています。

更に運動の輪を広げ、なんとしても計画撤回に追い込みましよう。

党市議会議員  
南畑さち代



リレートーク Relay talk リレートーク

リレートーク Relay Talk